

頭部放射線治療における患者セットアップエラーの固定具間比較

1. 研究の対象

2015 年 4 月～2023 年 3 月までに当院で放射線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年の放射線治療技術の発展によって、腫瘍に対して高線量を投与と正常組織への線量低減とを両立することができる回転型強度変調放射線治療 (Volumetric modulated arc therapy; VMAT) が可能となりました。頭部放射線治療において、治療期間中の患者セットアップエラーを抑制するため、熱可塑性物質を使用した固定具が広く用いられています。特に、VMAT を使用した頭部への放射線治療においては、脳幹・視神経・レンズなどの重要臓器が多数存在するため、治療期間中の患者体動を抑制する必要があります。現在、臨床現場において様々な種類の患者固定具が利用可能です。

本研究では、放射線治療計画時に取得した画像データに基づいて、固定具の違いによる患者セットアップエラーを定量的に評価します。セットアップエラーは、Roll・Yaw・Rotation の回転三軸と、Superior-Inferior・Anterior-Posterior・Left-Right の垂直三軸について検討します。

研究予定期間： 倫理審査委員会承認後 ～ 西暦 2023 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：CT 画像、MR 画像など、放射線治療実施に必要であった情報

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 大平新吾 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

-----以上